

平成 24 年 2 月 17 日

株式会社 電 通

代表取締役社長執行役員 石井 直

(東証第 1 部 コード番号 : 4324)

ピューブリスグループとの戦略的提携契約他の解除および 同株式の売却による特別利益の計上について

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、資本金：589 億 6,710 万円）は、平成 24 年 2 月 16 日開催の取締役会において、2002 年 9 月から資本業務提携関係にあったピューブリスグループ（本社：フランス・パリ市、会長兼 CEO モーリス・レヴィ、以下「ピューブリス」）との契約の解除および当社が保有するピューブリス株式を同社に売却することを決議し、当該株式の売却を本日以下のとおり実施いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 解除した契約について

- ・ピューブリスとの株主契約
- ・ピューブリスとのグローバルレベルでの戦略的提携契約
- ・ピューブリスの創業家で筆頭株主であるエリザベート・バダンテール氏との株主間契約

2. 株式の売却について

今回売却した株式数

ピューブリス普通株式 18,000,000 株（売却前の発行済み株式総数の 9.31%）

売却後の継続保有株式数 3,875,139 株（売却前の発行済み株式総数の 2.00%）

（注）本件売却後、ピューブリスは取得した自己株式のうち 10,759,813 株を消却するため、売却後の継続保有株式数はピューブリスの消却後発行済み株式総数の 2.12%になります。

売却先 ピューブリスによる自己株式取得

売却価額 1 株当たり 35.8 ユーロ（売却総額 644.4 百万ユーロ）

3. スーパーバイザリー・ボードからの退任について

上記 1 および 2 に伴い、下記 2 名はピューブリスのスーパーバイザリー・ボードから退任いたします。

高嶋 達佳（株式会社電通 取締役会長）

石井 直 （株式会社電通 代表取締役社長執行役員）

4. 今後の両社の関係について

当社はピューブリシスと約10年にわたって良好な友好関係を築いてまいりましたが、今後も友好関係は継続し、協働できる機会があれば引き続き個別に検討・推進してまいります。

また当社は、本件売却後も3,875,139株（売却前の発行済み株式総数の2.00%、消却後の発行済み株式総数の2.12%）のピューブリシス株式を継続保有いたします。

加えて、当社とピューブリシスが共同で設立したビーコンコミュニケーションズ株式会社（本社：東京都品川区、設立：2001年1月）および株式会社電通レイザーフィッシュ（本社：東京都中央区、設立：2001年4月）の経営体制・方針は変更いたしません。

5. 平成24年3月期の当社業績に及ぼす影響について

当社は、本件売却により、平成24年3月期において、連結では約21億円、単体では約217億円の特別利益を計上する予定です。

また、本件売却による特別利益を含む平成24年3月期の業績予想につきましては、現在精査中であり、まとめ次第お知らせいたします。

なお、ピューブリシスは平成25年3月期より、当社の持分法の適用はされません。

【ピューブリシスグループのレヴィ会長兼CEOコメント】

この10年にわたる電通とのパートナーシップは友好的で模範的なものであり、電通による資本参加はピューブリシスグループの事業展開を促進してくれました。この素晴らしい冒険に参加された電通幹部の方々（故 成田名誉相談役、俣木相談役、高嶋会長、石井社長）に対し、このパートナーシップが優雅に、そしてプロ意識を持って展開できたことについて感謝の意を表します。今後も個別の取引や二つのジョイント・ベンチャー（ビーコンコミュニケーションズ株式会社、株式会社電通レイザーフィッシュ）を中心に、我々のビジネス関係が果実をもたらす形で継続していくことに疑いはありません。

【電通の石井社長コメント】

この度、ピューブリシスと電通との10年間にわたる提携関係に一つの区切りがつくこととなりました。10年におよぶ両社の円満な関係を支えて下さったバダンテール・ピューブリシスグループ・スーパーバイザリー・ボード議長、レヴィ会長兼CEO、ピューブリシスグループの皆さんに、改めて感謝の意を表します。両社は今後も互いの顧客の成長とビジネスの発展に向けて友好的な関係を維持してまいります。

以上